

渡部 克彦（わたべ かつひこ） 通称：わたかつ

【キャッチコピー】 会社の誕生（設立）から発展・成長、そして承継まで

【費用】 株式会社設立：273,500円（実費約200,000円込）
LLC（合同会社）設立：123,000円（内、実費60,000円）
契約書チェック：1文書につき21,000円～
相談（面談・電話・メール等）：初回（30分）無料
その他の業務・講師依頼については要相談

【資格・専門分野など】 司法書士・岐阜県司法書士会企業法務研究委員長
中小企業支援団体「LLP経営360°」組合員
相続経営承継支援団体「LLPゴーイングコンサーン」組合員

【職歴】 名古屋大学卒業。名古屋市内の司法書士事務所に約6年勤務後の平成17年「わたべ司法書士事務所」を開設。愛知・岐阜県内の中小企業を中心に、税理士と連携して会社設立、定款変更、経営（事業）承継、危機管理、遺言作成、契約書作成その他企業法務のサポートなど総合的支援業務を行う。また某生命保険会社や某市主催の会社法・事業承継セミナーや起業セミナーの講師を務める。

【著書など】 「だれも言わなかった！新会社法5つの罠と活用法」（出版文化社・共著）
「銀行員のための新会社法—中小企業経営と新会社法との関係を正しく知るために」（銀行研修社・共著）
「中小・ベンチャー企業生き残りの切り札「種類株式プラスα」徹底活用法」（ダイヤモンド社・共著）

【インタビュー】 ◆相談役として
私が士業の先生と話して思うことは、どんなことでも「あるべき論」でお話しされること。日頃、「法律」という枠の中で仕事をしているからだろう。企業経営にあるべき論は存在しない。勝てば官軍。理論はその勝ち方を後で説明したに過ぎない（と私は思っている）。渡部氏はいい意味でこの「あるべき論」がない（ように思う）。なので、司法書士でありながら、「経営」という枠の中で話ができて、そういったことから経営者の相談役としてもお呼びがかかる、というのもよくわかる。

◆創業者が亡くなったら・・・

ここ数年、創業者から2代目への事業継承が大きな話題になっている。当然、経営ノウハウの継承が最も大事。しかし、「もめる」のは「相続」のことが中心だそう。その「もめ事」が大きくなり、廃業する会社もあるとか。会社の資産と個人の資産がごちゃごちゃになっていることが多い創業者がもし亡くなったら・・・。そういった問題の事前にクリアにし、専門家集団をコーディネートしていくのも渡部氏の仕事です。

◆キメ細やか

もちろん、司法書士の中心業務である各種法的手続きは、とてもキメ細やか。その大柄な体格からは想像できないほど、ママにそして、的確にアドバイスがもらえることは間違いない。

【頭脳。を分析】

